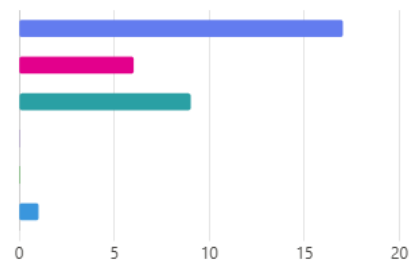


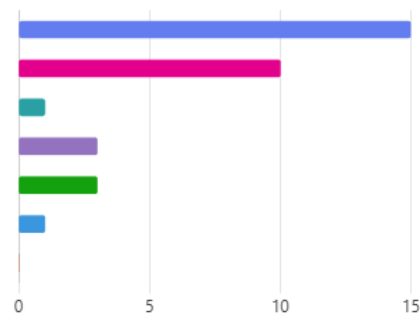
1. あなたの所属を教えてください。

● 大学	17
● 研究機関	6
● IT系民間企業	9
● 学生	0
● 所属していない	0
● その他	1



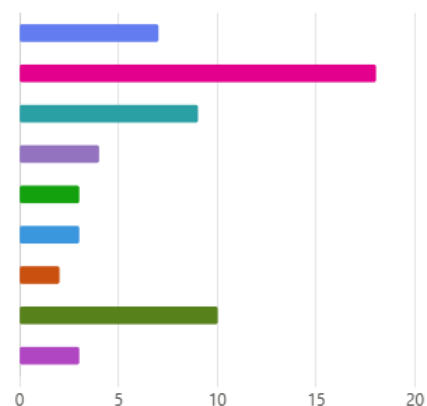
2. あなたの職種を教えてください。

● 教員・研究者	15
● 専門・技術職	10
● 管理職	1
● 事務職	3
● 営業職	3
● セールスコンサルタント	1
● その他	0



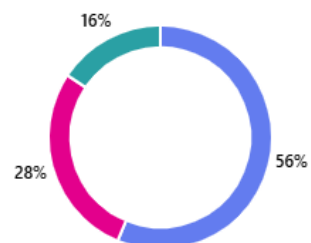
3. あなたが携わっている業務を教えてください（複数回答可）

● システム開発	7
● システム管理・運用担当	18
● 情報統括担当	9
● システムエンジニア	4
● 営業・フィールドサービス	3
● 企画・マーケティング	3
● 民間 営業職	2
● CSIRT、(プロジェクト)チームマネジメント	10
● その他	3



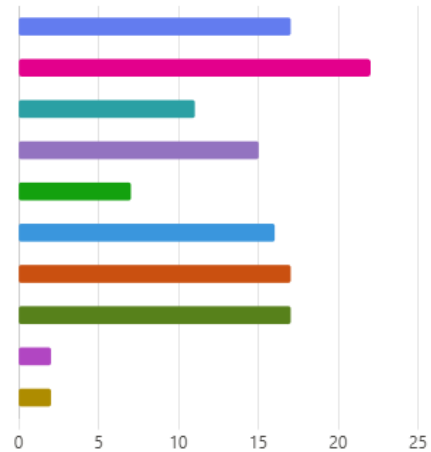
4. あなたの組織では、統合認証のような仕組みはありますか

● ある	18
● 部分的に運用している	9
● 構築中	5
● ない	0



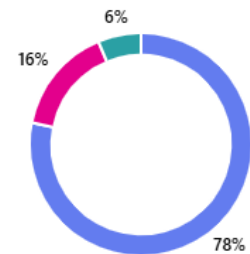
5. 統合認証のような仕組みを運営する上で、あるいは導入を検討する上での課題を教えてください。（複数回答可）

- 人事・教務システムとの連携 17
- 運用のための体制 22
- 技術的な課題 11
- 認証を提供するサービスとの連携 15
- 執行部の理解 7
- 情報更新の鮮度（更新頻度、処分時、退職後の一定期間） 16
- 派遣職員や名誉教授、研究員、医局に所属する医師（学外の病院に勤務）等の扱い、処分... 17
- 大学に関係する微妙な立場の人々の扱い 17
- SPになってくれない。運用部課やシステム業者がSAMLの理解がない。 2
- その他 2



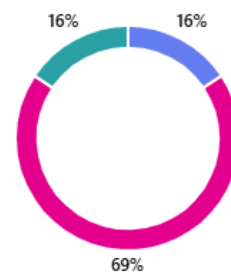
6. あなたの組織では、Microsoft365などのクラウドサービスと認証連携を行っていますか

- 認証連携を行っている 25
- 現在利用しているクラウドサービスとの認証連携を検討中である 5
- 認証連携も含めてクラウドサービスの利用を検討中である 2
- クラウドサービスの利用予定はない 0



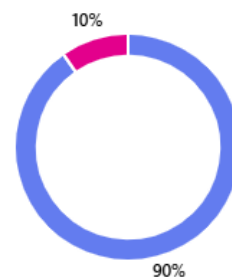
7. あなたの組織では、組織内システムで多要素認証を導入していますか

- 全てのシステムで導入している 5
- 一部のシステムで導入している 22
- 導入を検討している 5
- 導入の予定はない 0

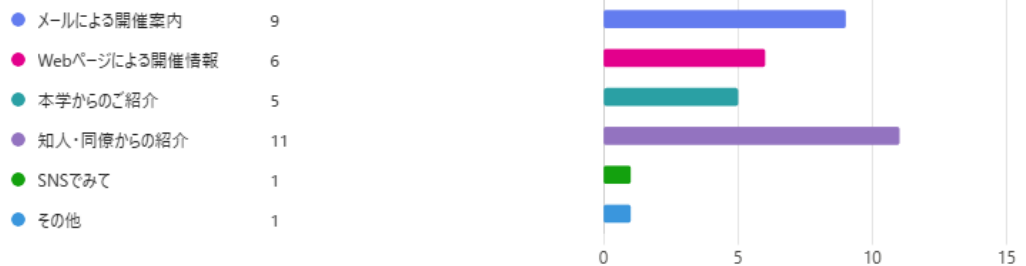


8. あなたの組織では、Microsoft365などクラウドサービスで多要素認証を利用していますか

- 利用している 28
- 利用を検討している 3
- 利用の予定はない 0



9. このシンポジウムをどこでお知りになりましたか（複数ある場合はどれか一つ）

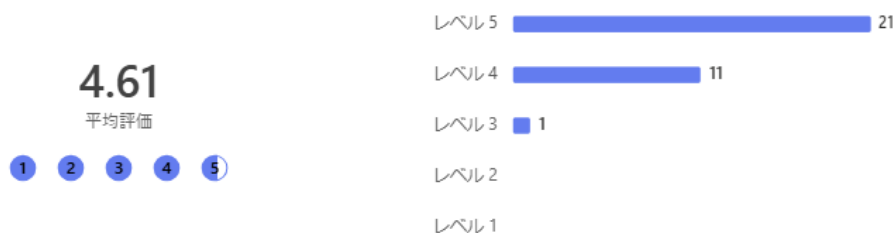


10. 次回開催する場合、取り上げてほしい統合認証に係るテーマはありますか

回答
ゲートの入退室など物理的な認証との連携について
既存の認証と新認証システムの入替え
認証基盤と部門システム間のSAML連携の運用について
今回の様な最新の市場動向
多要素認証を全学導入する際の案内の実例 アカウント作成、アカウント停止、パスワード初期化などの運用の簡素化の実例
同一人物が、異なる「身分・役職」で、同時にアクティブである場合の権限管理について キメ的な制御とするのか、それとも分身制御とするか？
認証システムの理想形（2026年時点での）
Shibboleth IdPの多要素認証対応
現時点では、次のような話題を聞きたいと思っています。（シンポジウムのテーマとして適当かどうかは分かりませんが）・鮮度の高い統合認証基盤構築のための学内組織連携・IAL2実現に向けての取り組み
・FIDOなどのパスワードレス認証・学認と研究コミュニティとの連携
学生証、職員証と統合IDの連携。出欠管理や鍵管理などへの展開。
マイナンバーカードによる認証を使った応用システム

組織におけるID管理、（確実な）本人確認
非常勤の教職員・研究者など、出入りが激しくかつ大学構成員が判断の迷う人員のアカウント運用
統合認証システム等に格納される利用者の所属やその他のロール等の情報と、その活用例。 # 主旨としては、単に利用の可否のみなのか、教員・職員・学生の職種のみなのか、学部・部署・係・研究室等の情報を格納しているのか否か、それがどのように（アクセス制限やデータ等のセキュリティに）活用されているのか、です。一旦認証を統合化したものの、（学内系とクラウド系などで）再度分離した例。 LMSの多要素認証の導入例。

11. 今回のシンポジウムの総合評価をお願いします。



12. 今回のシンポジウムについての感想、ご意見などがあればお聞かせください

回答
オンラインで参加していました。最初から参加していましたが会場の声がzoomの方には音声が入っていないようでした。何度かハウリングしている音は聞こえてきました。他の人もチャットにて会場音声がないことをご指摘されておりましたが、一人目のご講演が始まるあたりでも音声は入っていないようでしたので、オンライン参加は難しいと考え退席させていただきました。資料は拝読させていただきました大変参考になりました。
今後リモートを含めたハイブリッド形式での開催を継続していただけると幸いに存じます。
市場の動向、貴学の取り組みや課題が参考になり有意義なシンポジウムでした。
開催の案内はもう少し早めに出して欲しい。（12月位には）現地で動画配信の内容を確認した際に、ほぼ遅延なく動画配信されていたため、その際の記載やソフトウェアなど工夫されている点を教えて欲しい。統合認証などに関して、実例などの情報発信や情報交換の場をネット上でも設けて欲しい。
只木先生には、たいへんお世話になりました。いつも勉強させていただきました。まだまだ、今後にもご発声をいただければと思います。
毎年参加させていただいています。いろいろと学びがあり、ありがたく感じています。運営は大変かと思いますが、今後も継続してくださることを願っています。
只木先生のお話より、大学におけるこれまでの取り組みの時系列や先進性、学内におけるかわりの度合いなどがわかり大変参考になりました。渋滞の研究についても興味深く拝聴いたしました。
最新の動向などが効く事ができ、大変勉強になりました。

いつも大変興味深いシンポジウムを開催して頂きありがとうございます。現地参加させて頂き、懇親会では沢山の方々と情報交換ができ大変有意義でした。開催20回(更に回数を重ねることを)期待しております。
とても実践的で良い内容でした。
今後の認証技術および大学構成員のアイデンティティ管理について考える機会となりました。
只木先生、長い間、おつかれさまでございました。ありがとうございました。
はじめての参加でしたがとても勉強になりました。貴重な機会をいただけてありがとうございました。次回開催でも何かしらデジタル庁としての取組をみなさまに共有できると嬉しいです。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。